



津山の人・物・技術
など、明日誰かに自慢
したくなる津山のいい
ところを紹介します

13
つやまじまん

ええとこ
いっぱい

津山 **自慢**

市内初! 兄弟Jリーガー誕生 佐野 航大さん (初保出身)

父と兄の影響でサッカーを始め、市内のクラブチーム・FC ヴィパルテに中学3年生まで所属。米子北高校(鳥取県)に進学し、1年生から試合出場の機会を得る。4月からは、県内のプロサッカーチーム・ファジアーノ岡山(岡山市)に入団が内定している。18歳。

2 歳頃から父と3歳上の兄と一緒に、近くの屋内サッカー場でボールに触れていました。中学生の時、兄が米子北高校に進学し、週末には兄の試合を見に行きました。全国大会の出場が多い米子北高校で、自分も大会に出たという思いから入学しました。

高校1年生の時は、試合に出場しても成果が生まれませんでした。試合中は自分のプレーで精一杯。周囲の選手に気を配る余裕はありませんでした。3年生になり、チームのために自分がやるんだという責任感が芽生え、プレーに変化が出てきました。

「相手選手に囲まれた場面でも、ボールを奪われず相手陣営に切り込む」。自分が得意にしているプレーは、高校入学前に津山で練習してきたフットサルの影響です。守備で感じている課題は、J2リーグ・FC町田ゼルビア(東京都)で活躍する兄の動きを見て学んでいます。

幼い頃、津山陸上競技場でファジアーノ岡山の試合を見ました。サポーターの熱い応援を受ける選手たちの姿が格好良かったです。入団が内定

し、あこがれだった選手たちに一歩近付いたと思います。兄が同じJ2リーグに所属するので、試合で兄と同じフィールドに立ち、対戦することが夢です。

津山で生まれ、15年間を過ごしました。今の自分があるのは、津山で培ってきた基礎があるからです。4月からは、地元岡山のチームに入団しますので、プロサッカー選手として、皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。



写真提供元・米子北高校サッカー部

※兄の佐野海舟選手は、広報津山2019年4月号で紹介しています



空気が乾燥していて、星がきれいに見える冬。1月始めには三大流星群の1つ、しぶんぎ座流星群が観測できるそうです。

8月のベルセウス座流星群は雨の日が続き、残念ながら見る事ができなかったため、今回はしっかり寒さ対策をして、写真撮影に挑戦したいです。どうか天候に恵まれますように! ☆

今月の特集、自分の家の雑煮との違いを楽しんでもらえましたか。スルメだしの醤油味が当たり前と思っていたので、味噌派も多いことにびっくり。ニンジンなど根菜類が入った雑煮も食べたことがなく、驚きの連続でした。祖母が生きていたら、うちの雑煮のルーツをいろいろと聞いてみたかったな。(一)

津山自慢の佐野航大さん。取材前に動画でプレーを見ました。相手選手に囲まれた場面で、ボールを奪われずに抜け出す姿が印象に残りました。この技術は、津山でフットサルをしていた時の影響だそうです。このプレーを見て「八方塞がりの状況はない。必ず抜け道はある」と教えられたような気がします。(二)